

# 行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 5 -

## 産業の活性化を促進する

### 目指す姿

社会の変化に対応できる経営の敏しょう性が備わっており、企業の競争力が向上しているとともに、持続可能な産業が構築されています。また、新しい企業が創業し、老舗企業も時代に合わせ事業を変革しています。

### 成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画策定時	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2027年度
知的対流 <sup>1</sup> を通じた交流人数【累計】	446人	628人				1,046人
産業間連携ネットワークによる新商品開発・新事業創出件数【累計】	26件	36件				36件
中小企業の相談受付件数 <sup>2</sup> 【累計】	2,831件	10,406件				13,681件

1 共同研究・協働・人材育成等のこと。

2 関係支援団体を含めた相談受付件数のこと。

### 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 最先端の技術開発や実証プロジェクトに市内企業が触れる機会を創出するため、企業版ふるさと納税を原資として波力発電プロジェクトに資金支援を行うとともに、新たに工学院大学と協定を締結し、平塚新港での海の肥料施肥プロジェクトの実施支援を行いました。
- 産業活性化会議及び産業活性化推進会議を開催し、情報共有や課題解決のための意見交換を行いました。特に産業活性化推進会議では、平塚市産業振興ビジョン策定のため、各産業界の若手の方々と共に本市産業界の現状と課題について協議しました。また、産業間の連携プロジェクトを支援することで、8つの新商品開発に繋がりました。
- 創業支援等事業計画に基づき、関係機関と連携して起業家育成のためのセミナーの共催や、起業に関する情報提供や事業計画の作成支援を行うとともに、創業や副業に関する相談会の開催及び専門家を派遣することで、市内での創業を支援しました。また、個別相談会を開催するこ

とで、市内事業者の事業承継を支援しました。

- ・様々な経営課題の解決に向けて、関係機関等と連携したセミナーを開催するとともに、事業者への専門家派遣や経営相談会を開催しました。また、各種補助制度により、正規雇用や脱炭素化の取組を支援したほか、新たに子育て支援企業応援奨励金やDX人材育成体制構築奨励金を実施し、雇用及び労働環境の改善に対する支援を行いました。加えて、金融機関等と協議を図りながら制度融資を実施し、経営の安定化を支援しました。
- ・認定された湘南ひらつか名産品及び特産品について、イベント出店やチラシ配布を行い、普及促進をしました。
- ・スマートフォンアプリと二次元バーコードを活用し、電子マネー類似機能兼行政ポイント「スターライトマネー」を実施するとともに、加盟店からの決済手数料を一部活用しながら、社会課題解決のための関係資金を積み立てました。

### 施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・創業前後の様々な課題解決のための支援を実施するとともに、価格転嫁や人手不足など経営課題の変化に対応できるよう経済状況や事業者ニーズに即した経営支援策が必要となります。関係機関と連携し、経営課題に応じた支援を継続します。加えて、デジタル人材の育成や、賃上げ、仕事と家庭の両立などの労働環境の整備を促進します。
- ・これまで集積してきた「知」を社会的課題などへの取組に応用できるようにするとともに、新たな知的対流が興りやすい環境を醸成する必要があります。先端技術の研究開発拠点としてのブランドイメージが高い都市として、国内外の企業や学術機関等から、より一層認知されるよう、効果的な情報発信を実施することで、知的対流につながります。また、脱炭素化セミナー等を開催し、好事例を通して取組を促します。
- ・地場産品の普及促進のため、名産品に対する市民の認知度を高める方法を検討していくとともに、ふれあいマーケットでは新規来場者を増やし、定着化を図る必要があります。名産品のブランド価値の向上を図り、効果的に市内外に広く普及させるとともに、ふれあいマーケットでは、イベント等を開催し、生産者と消費者とのふれあいの場の充実を図ります。
- ・独自アプリを活用した市内消費活動の推進にあたって、持続可能な取組にしていく必要があります。持続可能な取組となるようスターライトマネーの加盟店に決済手数料を負担いただくとともに、その一部を社会課題解決のための市基金に積み立てることで、好循環を創り出すことを目指します。

### 関連事業

産業間連携促進事業、知的対流推進事業、起業家支援事業、中小企業経営支援事業、中小企業金融支援事業、平塚産品普及促進事業、商工業者支援団体活動補助事業、地域共創ポイント事業、脱炭素情報交流促進事業

決算額				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費 (千円)	1,587,511			